

(その三)

工場又は事業場の名称	宇部興産株式会社 千葉石油化学工場
------------	----------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策1	対策2	対策3	対策4	対策5	対策6	対策7	対策8	対策9	対策10
2 9	3 9	5 1	5 4	9 1					

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

対策1について
昨年度に引き続き、脱臭入口VOC濃度を測定し4系列の負荷調整を行なうと共に、廃ガス処理温度と脱着/吸着サイクルの管理を徹底させ、脱臭塔出口からのVOC物質の放出量を削減する。また、別系統のRHガスは脱臭装置送り禁止を継続する。
対策2について
ポンプ更改等によりシール部からの微量漏れの是正を継続的に進めていく。
・脱臭装置の出口ガス濃度の計算に間違いがある事が判明した為、令和元年度の排出量の計画値を修正します。

備考 3(2)に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策1	対策2	対策3	対策4	対策5	対策6	対策7	対策8	対策9	対策10
2 9	3 1	3 9	5 4	9 1	4 9	5 1			

(その三)

工場又は事業場の名称	丸善石油化学株式会社 千葉工場
------------	--------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
3 1	3 2	4 1	5 1	5 3	5 4				

その他 (1 9, 2 9, 3 9, 4 9, 5 9, 9 9) を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

・平成27年よりVOC排出源の再調査を開始しており、特定の排出源について削減対策の検討を進めている。タンク1基について、一部大気中に拡散されていたVOCを燃焼処理するための改造工事を平成30年度実施を予定していたが、今年度実施、工事完了予定。2000kg/年程度の削減を見込んでいる。

備考 3 (2) に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
3 1	3 2	4 1	5 1	5 3	5 4				

(その三)

工場又は事業場の名称	東レ・ファインケミカル株式会社 千葉事業場
------------	--------------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1) の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
2 1	3 1	3 9	4 9	5 2	5 3	5 4	5 7		

その他 (1 9, 2 9, 3 9, 4 9, 5 9, 9 9) を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

対策 3 (39) 屋外タンクから原料中間タンクへの補充方式を液面一定で補充することに設備変更を行い、原料中間タンクの受け入れ時の排出ガス削減を継続中。
対策 4 (49) タンクローリーからの受け入れ排出制御のペーパーリターンラインを設置し使用中。

備考 3 (2) に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1) の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
2 1	3 1	3 9	4 9	5 2	5 3	5 4	5 7		

(その三)

工場又は事業場の名称	東レ株式会社 千葉工場
------------	----------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
4 9	5 1	5 6							

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

1. 対策1について アクリロニトリルタンク設置時、タンクベントにコンデンサーを取り付け-20℃に冷却して、アクリロニトリルの蒸気を凝縮させてタンクへ戻している。
2. 第7期P R T R対象物質削減対策設備(シリカゲル吸着装置)。
3. 第8期P R T R対象物質削減対策設備(3塔式蓄熱燃焼炉)。

備考 3(2)に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
4 9	5 2	5 1	5 6						

(その四)

工場又は事業場の名称	東レ株式会社 千葉工場
------------	----------------

3 基準年度以前から実施している揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) 基準年度における処理回収率等

	基準年度				
	平成12年度				
使用量 (kg/年度) (1億キログラムを超える場合は、下段に指数表示で記載すること。)	2	7	0	0	0
	× 10				
排出等の量 (kg/年度)	2	4	0	0	0
処理回収率 (%)	99				

基準年度までに、浮屋根式タンク又は内部浮屋根式タンクに改造した固定屋根式タンクの基数(基)

--	--	--	--	--

備考

- 1 この項の提出は任意であること。
- 2 基準年度は、2 (1) の基準年度と一致させること。
- 3 使用量及び排出等の量は、2 (1) の基準年度におけるものと一致させること。
- 4 処理回収率は、次の式により算出される数値を有効数字2桁で記載すること。

$$\{ (\text{使用量} - \text{排出等の量}) / \text{使用量} \} \times 100$$

(2) 基準年度以前から実施している対策の内容

基準年度以前から実施していた対策であって、現在も実施しているものについて、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策1	対策2	対策3	対策4	対策5	対策6	対策7	対策8	対策9	対策10
49									

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

<p>1. 対策1について</p> <p>アクリロニトリルタンク設置時、タンクベントにコンデンサーを取り付け-20℃に冷却して、アクリロニトリルの蒸気を凝縮させてタンクへ戻している。</p>

備考 この項の提出は任意であること。

(その三)

工場又は事業場の名称	出光興産株式会社 千葉事業所
------------	-------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1) の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
3 1	3 9	4 1	5 1	5 2	5 9				

その他（1 9, 2 9, 3 9, 4 9, 5 9, 9 9）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

(対策 3 9 について) 従来、粗ベンゼンは弊社他事業所へ船転送し処理していたが、平成13年6月以降、当事業所内処理に内製化することで海上出荷に伴うVOC排出量を削減している。
(対策 5 9 について) 平成26年度～28年度にかけ、一部の製造装置を停止、廃止したことによりVOC大気排出量は、基準年の排出量から90%以上の削減量している。
(対策 3 1 の補足説明) 平成21年度はポンプ軸封からの飛散を減少させるために、軸封の改善を実施している。
(対策 4 1 の補足説明) ナフ等揮発性有機化合物は浮屋根式タンク又は内部浮屋根式タンクに貯蔵し、貯蔵に伴うVOC排出量を削減している。
(対策 5 1 の補足説明) 排出ガス中の揮発性有機化合物を吸着回収する設備の設置等により大気中への排出量を減少している。
(対策 5 2 の補足説明) タンクローリー充填・出荷施設にはVOC回収設備を設置し、VOC回収率90%以上の高回収率運転を行い、タンクローリー充填・出荷に伴うVOC排出量を削減している。

備考 3 (2) に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1) の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
3 1	3 9	4 1	5 1	5 2	5 9				

(その四)

工場又は事業場の名称	出光興産株式会社 千葉事業所
------------	-------------------

3 基準年度以前から実施している揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) 基準年度における処理回収率等

	基準年度				
	平成12年度				
使用量 (kg/年度) (1億キログラムを超える場合は、下段に指数表示で記載すること。)	1	6	×	10	0
排出等の量 (kg/年度)	1	4	0	0	0
処理回収率 (%)	100				

基準年度までに、浮屋根式タンク又は内部浮屋根式タンクに改造した固定屋根式タンクの基数(基)	5
---	---

備考

- この項の提出は任意であること。
- 基準年度は、2(1)の基準年度と一致させること。
- 使用量及び排出等の量は、2(1)の基準年度におけるものと一致させること。
- 処理回収率は、次の式により算出される数値を有効数字2桁で記載すること。

$$\{ (\text{使用量} - \text{排出等の量}) / \text{使用量} \} \times 100$$

(2) 基準年度以前から実施している対策の内容

基準年度以前から実施していた対策であって、現在も実施しているものについて、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策1	対策2	対策3	対策4	対策5	対策6	対策7	対策8	対策9	対策10
4	1	5	2						

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

(タンクローリー充填・出荷施設のVOC回収実績について)
弊所ではVOC回収に積極的に取り組んでおり、タンクローリー充填・出荷施設のVOC回収設備を平成2年3月に設置しました。当該設備は、VOC回収率90%以上の実績を誇り現在も順調に稼動しており、VOC排出量削減に大きく寄与している。

備考 この項の提出は任意であること。

(その三)

工場又は事業場の名称	ライオン株式会社 千葉工場
------------	------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
2 9									

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

対策1について ----- 当該貯蔵タンクの適切な管理にてVOC発生量の削減。 ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- -----

備考 3 (2) に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
1 9	3 9	5 3	9 9						

(その四)

工場又は事業場の名称	ライオン株式会社 千葉工場
------------	------------------

3 基準年度以前から実施している揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) 基準年度における処理回収率等

	基準年度			
	平成12年度			
使用量 (kg/年度) (1億キログラムを超える場合は、下段に指数表示で記載すること。)	8	0	0	0
	× 10			
排出等の量 (kg/年度)	3	2	0	0
処理回収率 (%)	96			

基準年度までに、浮屋根式タンク又は内部浮屋根式タンクに改造した固定屋根式タンクの基数(基)	0
---	---

備考

- 1 この項の提出は任意であること。
- 2 基準年度は、2 (1) の基準年度と一致させること。
- 3 使用量及び排出等の量は、2 (1) の基準年度におけるものと一致させること。
- 4 処理回収率は、次の式により算出される数値を有効数字2桁で記載すること。

$$\{ (\text{使用量} - \text{排出等の量}) / \text{使用量} \} \times 100$$

(2) 基準年度以前から実施している対策の内容

基準年度以前から実施していた対策であって、現在も実施しているものについて、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策1	対策2	対策3	対策4	対策5	対策6	対策7	対策8	対策9	対策10
5	3	9	9						

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

<p>対策2について</p> <p>界面活性剤中の組成改善による、VOC発生量の削減。</p>

備考 この項の提出は任意であること。

